

① 地理院地図

① 地理院地図

↑ウインドウを開く

「中心+」→

ウインドウを隠す→

中心+の緯度、経度→

中心+位置の標高→

現在位置を表示→

↑ドラッグで上下サイズを変更

計測ツール→

ウインドウを隠す↓

ツールを開く→

地図の種類

トップ > 年代別の写真

選択中の地図 リセット

地形分類 (自然地形)

自然災害伝承碑 (すべて)

全国最新写真 (シームレス)

津波浸水想定 (想定最大規模)

自分で作る色別標高図

1961年～1969年

陰影起伏図

標準地図

例: 鷗岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒

高知県須崎市多ノ郷甲

33度24分23.66秒 133度16分54.23秒 33.406572,133.281730 ズーム: 15

UTMポイント: 53SLS40219768

標高: 41.5m (データソース: DEM1A)

全国最新写真(シームレス)撮影期間: 2018年9月～2019年1月

② 地殻変動情報

② 地殻変動情報

電子基準点

5m

国土交通省 国土地理院

地理院ホーム 国土地理院の紹介 基準点・測地観測データ 地図・空中写真

地理院ホーム > 基準点・測地観測データ > 日本列島の地殻変動 > 地殻変動情報表示サイト

地殻変動情報表示サイト

次の2期間の平均値を比較

始 2025/05/01-2025/05/15

終 2026/05/02-2026/05/16

固定観測局 (□印): 福江

1cm

■ 操作説明

変動情報

● 変動ベクトル図

○ 経緯変化グラフ

○ 座標変化グラフ

操作説明

表示地域

近畿・中国・四国

期間

○ 10年間

○ 5年間

○ 1年間

○ 1か月

表示形式

○ 水平方向

○ 垂直方向

表示ベクトルの倍率

50%

固定局変更

次から選択

変更する

データダウンロード

テキスト形式

KML形式

近畿・中国・四国 (1年間)

③ 電子基準点

③ 電子基準点

基準点種別 電子基準点

点名 須崎

基準点コード EL05033038201

成果状態 正常

概要 表示

例: 鷗岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒

高知県須崎市多ノ郷甲

33度24分23.66秒 133度16分54.23秒 33.406572,133.281730 ズーム: 15

UTMポイント: 53SLS40219768

標高: 41.5m (データソース: DEM1A)

全国最新写真(シームレス)撮影期間: 2018年9月～2019年1月

④ 自然災害伝承碑

④ 自然災害伝承碑

宝永津波溺死の碑

災害名: 宝永地震 (1707年10月28日)

安政南海地震 (1854年12月24日)

詳細説明は画像をクリック

例: 鷗岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒

高知県須崎市多ノ郷甲

33度24分23.66秒 133度16分54.23秒 33.406572,133.281730 ズーム: 15

UTMポイント: 53SLS40219768

標高: 41.5m (データソース: DEM1A)

全国最新写真(シームレス)撮影期間: 2018年9月～2019年1月

⑤ 近年と1960年代の空中写真

⑤ 近年と1960年代の空中写真

2画面解除

連動 ON

例: 鷗岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒

高知県須崎市多ノ郷甲

33度24分23.66秒 133度16分54.23秒 33.406572,133.281730 ズーム: 15

UTMポイント: 53SLS40219768

標高: 41.5m (データソース: DEM1A)

全国最新写真(シームレス)撮影期間: 2018年9月～2019年1月

⑥ 自分で作る色別標高図

⑥ 自分で作る色別標高図

2m以下

2m ~ 3m以下

3m ~ 4m以下

4m ~ 5m以下

5m ~ 10m以下

10m ~ 11m以下

11m ~

例: 鷗岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒

高知県須崎市多ノ郷甲

33度24分23.66秒 133度16分54.23秒 33.406572,133.281730 ズーム: 15

UTMポイント: 53SLS40219768

標高: 41.5m (データソース: DEM1A)

全国最新写真(シームレス)撮影期間: 2018年9月～2019年1月

⑦ 地形分類

⑦ 地形分類

砂州・砂丘

土地の成り立ち 主に現在やむの海岸・湖岸・河川沿いにあり、周囲より高い砂礫質な土地。波によって打ち上げられた砂や礫、風によって運ばれた砂が堆積することによる。

この地形の自然災害リスク 通常の洪水では浸水を免れることが多い。強い地震による液状化の発生傾向は砂州ではやや強く、砂丘ではやや弱い。砂丘縁辺部では非常に強い。

上記は一般的な自然災害リスクであり、個別の場所のリスクを示しているものではありません。

出典等

例: 鷗岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒

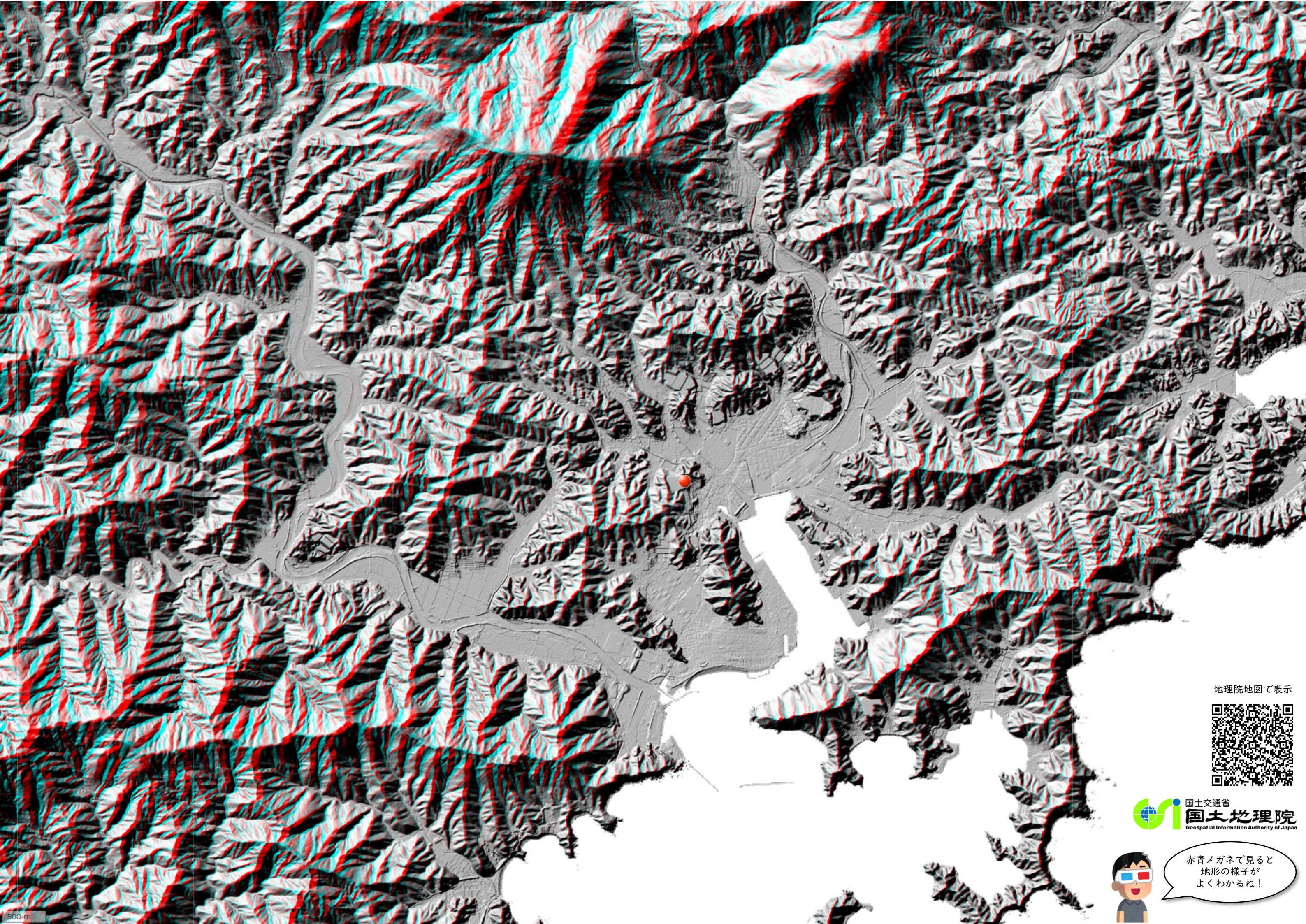
高知県須崎市多ノ郷甲

33度24分23.66秒 133度16分54.23秒 33.406572,133.281730 ズーム: 15

UTMポイント: 53SLS40219768

標高: 41.5m (データソース: DEM1A)

全国最新写真(シームレス)撮影期間: 2018年9月～2019年1月



地理院地図で表示



赤青メガネで見ると
地形の様子が
よくわかるね！